

近世女性画家の研究を振り返って

講演
と
トーク

日時

2021年10月30日(土)
13:30～15:30(受付開始 13:00)

場所

実践女子大学(渋谷キャンパス)
創立120周年記念館 403教室
聴講自由:無料

※新型コロナウイルス感染症の影響などによりオンラインに変更する場合があります。その際は予約が必要となりますので、大学ホームページ (<https://www.jissen.ac.jp/>) で事前にご確認ください。



仲町 啓子
(なかまち けいこ)

実践女子大学美学美術史学科教授
実践女子大学香雪記念資料館長

東京大学大学院博士課程単位修得退学。ニューヨーク・メトロポリタン美術館客員研究員。秋田県立近代美術館特任館長。専門は日本近世美術史、著書『光琳論』(中央公論美術出版、2020年)ほか。論文「描いた女性たち—平安時代から江戸時代を中心に—」(『國華』1397号)

講演 13:30-14:30

仲町 啓子

(美学美術史学科教授、香雪記念資料館長)

「近世女性画家の研究を振り返って」

仲町啓子氏は琳派を中心とする近世絵画史研究の第一人者であり、1985年の美学美術史学科設立以来、当学科で長きにわたり日本美術史の指導にあたってきましたが、2022年3月をもって退職します。1999年の香雪記念資料館発足後は、館長として女性画家作品の収集、研究を牽引し、この分野に新たな展望を開きました。同時開催中の展覧会にちなみ、近世女性画家の研究に関する講演をおこないます。

トーク 14:30-15:30

仲町 啓子氏 ×

宮崎 法子氏(美学美術史学科教授) ×

児島 薫氏(美学美術史学科教授)

宮崎法子氏は本学科にて中国美術史の指導に力を注ぎ、2期にわたり香雪記念資料館の館長を務め、中国絵画史の立場から文人画に関する助言をしてきました。児島薫氏は日本近代美術史及び博物館学課程を担当しています。

講演後は3人で女性画家研究の諸問題や女子大学において行うことの意義、実践女子大学の女性画家研究の特色などについて話し合います。

宮崎 法子(みやざき のりこ)

実践女子大学美学美術史学科教授

東京大学文学部美術史学科卒、同大学院博士課程中退。京都大学人文研助手(その間、北京・中央美術学院留学)、三重大学助教授(その間、ハーバード大学招聘学者)を経て現職。著書『花鳥・山水画を読み解く』(ちくま学芸文庫、2018年)、『中国絵画の内と外』(中央公論美術出版、2020年)ほか。



児島 薫(こじま かおる)

実践女子大学美学美術史学科教授

東京大学文学部美術史学科卒、同人文科学研究科修士課程美術史専修課程修了、博士課程中退。ロンドン芸術大学にてPh.D.取得。世田谷美術館非常勤学芸員、東京国立近代美術館研究員、石橋財団ブリヂストン美術館学芸員などを経て2000年より現職。



関連展示

清く雅やかな世界を求めて
—江戸時代後期の女性画家たち—



展示作品：「唐美人図」香川水仙 絹本墨画 19世紀前半 実践女子大学香雪記念資料館蔵

2021年 9月20日(月・祝)～10月30日(土)

実践女子大学香雪記念資料館 企画展示室1・2、下田歌子記念室

開館時間：10:30～17:00

休館日：日曜日、9月23日(木・祝) ※ただし10月10日(日)は開館

入場料：無料

主催：実践女子大学香雪記念資料館

後援：渋谷区教育委員会

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期の変更や中止の可能性がります。ホームページでご確認ください。

<https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>

アクセス



○JR / 東京メトロ / 東急 / 京王「渋谷駅」東口から徒歩10分

○東京メトロ「表参道駅」B1出口から徒歩12分

駐車場・駐輪場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

香雪記念資料館は、実践女子大学渋谷キャンパスの1階にあります。ご来館の際には、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ、ご入館の旨をお伝えください。